

二百字文 書き方一例

感想文の場合

テーマ：自分の読んでいる本

いま私が読んでいる本は「夜は短し歩けよ乙女」（森見登美彦：著）だ。大学生の主人公が夜の町を渡り歩きながら知らない人々と出会い、お酒を飲んだり、大学の学園祭で催される演劇に飛び入りで参加し、またお酒を飲んだりする。

舞台が京都なため、京都で開催されるお祭りの話や、神社や通りの名前などもたくさん紹介されていて、実際に行ったような気持ちにさせられる。早く私も大学生になりたい！と思わせてくれる作品だ。（197字）

→あまり形式にこだわらなくても文章を書く練習になる。

一段落目で簡単に紹介したいものの説明をし、後半は具体的な箇所を取り上げつつ感想を述べる。

意見文の場合

テーマ：飲食店で紙製のストローを使用することについて

私は、紙製のストローを使用するという企業の意見に賛成だ。

プラスチックは自然に分解されないため、正しくリサイクルされない場合はいつまでもゴミとして残ってしまう。私も、実際に海や川まで流れ着いてしまったストローのゴミを見たことがある。そのゴミを水生動物が間違って食べてしまい、死んでしまうというニュースもよく耳にする。

地球環境と水の動物を守るためにも、私は紙製のストローを使うべきだと考える。（194字）

→意見文は自分の立場と根拠、そして主張を明確にする。

入試の場合、自分の体験・経験が根拠となっているかどうかは採点基準にされやすい。

三段落構成を意識し、整合性のある文章を書こう。